3月定例会・臨時議会

平成20年第1回定例会が、2月26日から3月18日までの22日間の日程で、また臨時議会が5月2日に開催されました。定例会では、平成20年度一般会計当初予算をはじめとする31議案が、臨時議会では5議案が提出され、審議しました。議案質疑の内容を紹介します。

平成20年度当初予算について（可決）

平成20年度当初予算案で、春木中学校の増築工事についての予算が計上され、第1回定例会で可決。臨時議会では、工事請負契約についての議案が提出され、次のような質疑が行われました。

春木中学校増築工事について

Q 今回の工事契約では、事後審査型制限付き一般競争入札を行うという説明だが、どういうものか。

A 先に入札を行い、最終的に条件にあっているか、適正で信頼できる業者か、適格性を審査するやり方。

Q 何社が入札に参加したか。

A 3社。

Q 町の予定価格はいくらか。

A 3億6910万円

Q 予算は4億円ほどとってあったはずだが。

A 予算では、設計に基づき4億2000万円を計上している。

Q 入札の結果、工事請負契約の金額は。

A 2億9085万円。

Q 一番安い業者と契約したと解釈するが、予算は4億で、実際の契約金額は3億をきり、価格差が1億以上。これだけ安くなって、しっかり工事ができるのか。町の監理体制はとれるのか。

A 専門的な設計・監理は、設計事務所に依頼しており、町としても学校教育課が監督責任者として、しっかりやっていく。

Q 建設工事にも適正価格があり、設計に基づいた予算金額と1億も違うのでは、業者がどこかで儲けを出そうと無理をするのでは。材料の納入時には、すべての製品について出荷証明書を出してもらうなど、チェックが必要ではないか。

A いろいろな角度からチェックしていきたい。

Q 旧校舎とつながる渡り廊下をつくる設計だが、1階の教室の日当たりは大丈夫か。

A 計算上は大丈夫である。

名鉄バスへの補助金

Q 廃止路線（赤池・押草団地線）バス補助金、約820万円の根拠は。

平成20年度当初予算

どう使う？みんなの税金

167億3989万円

一般会計102億3352万円
特別会計　65億　637万円

A 年間利用者総数が約10万人。運賃などの収入が約1930万円。年間運行経費の約2500万円に利益分の10％（250万円）を加えた約2750万円から、収入1930万円を引いた850万円が、補助金となる。

Q 補助金期間を2年とした理由は。

A この路線は生活交通を担っており、廃止になれば住民が不便になる。代替策がなく、補助期間中に採算のとれる路線に転換する機会を見る期間として、2年とした。なお、1年では存続可能か判断することが困難と判断した。

Q 名鉄の採算ラインは。

A 年に約13万5000人。1便あたり約25人。

Q 今年度、乗車率が落ち込んだ場合、来年度の補助金は追加となるのか。

A 追加となる。実質の赤字額に利潤を加えたものを要求される。

子育て支援

Q 妊婦検診費用は。

A 事務手数料41万7000円、委託料3748万2000円、県外妊婦検診審査返還金47万9000円で、総合計3837万8000円。

Q 子ども医療費補助対象者が拡大したのに、予算総額が減になった理由は。

A 現在、子どもの保険者給付は、3歳未満まで8割給付。それ以外の年齢は7割給付だったが、この4月から就学前まで8割給付となり、子ども医療費の持ち出しの減額が予想される。

予算編成に枠配当方式を導入

Q 枠配当方式では、人件費など絶対必要な経費を除いた部分でやりくりしたとのことだが、その分け方は。

A 基本的には、当初予算配分基準による。給料、諸手当及び共済費などや、公債費や償還金、長期継続契約に伴う使用料など、担当課の努力では節減できない当然必要となる経費を、特別配当枠または確保枠とした。それ以外の担当課の意思により変動できる経費を計上枠とした。

その他

Q いこまい館の見直しの予算計上は、アンケート結果などが出てから補正予算で出すべきでは。

A 実施設計の前段階で行う調査委託料で、関係者などで協議を進めていく過程で必要。

Q 原則借りないはずの一時借り入れ金の利息が計上されている理由は。

A 不測の事態に備えた。

Q 諸輪東部開発が産む法人税収益は。

A すぐスタートしても、早くて10年後だと思う。

Q 農業振興一般事業1316万円のうち、委託料の具体的内容を問う。

A 土地利用の状況など、農業に関する指標を洗い直し、整備計画を見直す。